

# 農作物生育概況

令和4年4月20日現在

## <作物>

水 稲：積雪量が多かったことから、水稻作業の遅れが心配されたが、飯山地域でも播種作業は4月14日頃から開始されており、概ね平年並みのスタートとなっている。播種作業のピークも平年並みの20～24日の見込みである。田植えは5月10日頃から開始される見込み。

小 麦：飯山地域の根雪期間は120～130日となったことから雪腐れ病の発生が見られる。被害はシラネコムギで大きいですが、主力のゆめちからでもほ場全体の3～4割弱で発生が見られた。現在は概ね回復しており、大きな減収とはならないと思われるが、生育遅れにより梅雨期の収穫となることが懸念される。一方、11月上旬に播種された中野市のゆめちからの生育は順調である。

## <果 樹>

全 般：現状、凍霜害の着果への影響はほとんどないと見ているが、開花前の品目も多いため開花を待って状況を確認する。

りんご：生育は平年並み～やや進んでおり、生育の早いほ場では中心果の花弁が見え始め、セパレートしてきている花そうもある。

ぶどう：4月の暖かさにより、露地栽培の生育はやや早まる可能性があり、休眠期防除が遅れないよう指導している。

核果類：4月上旬までの生育は平年より遅れていたが、4月9日以降暖かい日が続き、生育はほぼ平年並みからやや早い状況となっており、プラムは満開～落花期となっている。ももの開花は早い品種・地区で4月12日頃であったが、その後気温が平年並み～やや低くなり、生育の進みは鈍化した。

日本なし：生育は概ね平年並みとなっており、早いところでは「南水」の開花が始まっている。

## <野 菜>

### アスパラガス

JA 中野市の半促成作型では被覆が積雪のため3月初旬と遅れたが、3月22日初出荷（昨年3/13）、4月初めから本格的に収穫が始まっている。飯山市のハウスでは、4月中旬から萌芽が始まった。

露地では中野市で4月中旬から萌芽が始まり、ほぼ平年並みだったが、4月17日の降霜で、一度全刈りを行った。飯山市では4月20日頃から萌芽始まる。

## <花 き>

### シャクヤク

岳南：3月の気温が低く推移したため、どの作型も7日～10日程度生育が遅れている。

出荷開始は加温作型で4/13、無加温作型で4/18頃。露地作型の生育ステージは出蕾期、草丈20~25cm程度段階で、-1~2度以下の低温による凍霜害が心配される。

岳北：生育ステージは萌芽期~出蕾初期。3月の気温と雪解けが遅かった影響で、生育は岳南より7日程度遅れている。

その他品目

- ・フィリアマドコロ：収穫期。5月上旬まで出荷予定。
- ・スズラン：ハウス物収穫期。露地は来週以降と思われる。